

# 琵琶湖八景

びわ湖全体に広がる、その雄大さと変化に富んだ風景を広く紹介するため「琵琶湖八景」が選ばれました。

## ⑥「深緑」～竹生島の沈影

深い緑に包まれ、青い水面に映る島影はびわ湖を代表する風景の一つです。



## ⑤「新雪」～賤ヶ岳の大観

賤ヶ岳は、羽柴秀吉と柴田勝家が戦った「賤ヶ岳の合戦」でその名を歴史にとどめています。



## ⑦「月明」～彦根の古城

月明かりに浮かび上がる古城は、訪れる人々に歴史の重みを感じさせます。



## ①「暁霧」～海津大崎の岩礁

荒々しく、雄大な風景が見られ湖面から立ちのぼる霧が岩礁をつつんで、幻想的です。

## ②「涼風」～雄松崎の白汀

“松は緑に砂白き…”と、「琵琶湖周航の歌」に歌われています。

## ③「煙雨」～比叡の樹林

深い樹林の中に、延暦寺などが建ちならび、雨にかすむ静かな雰囲気が感じられます。



## ④「夕陽」～瀬田石山の清流

夕日に映える瀬田川の流れには日本三名橋の一つ唐橋がかかり、美しい風景です。



■お問い合わせは…



# 第65回

## 中小企業団体全国大会

# 近江の歴史・文化に触れ、環境を考える エクスカーションのご案内

つながる絆、ひろがる未来

組合 - 絆 - ルネサンス

# Mother Lake

65th  
中小企業団体全国大会

国宝彦根城 びわ湖環境ビジネスメッセ



あゆや さと  
鮎家の郷

「鮎家の巻物」や琵琶湖佃煮を販売する「楽市売店」をはじめ、鮎料理・鴨料理の「鮎鴨亭」、びわ湖レストラン「比良暮雪」など、鮎家の創作料理を取りそろえ皆様のおしをお待ちしております。琵琶湖湖畔の風景とともに、「びわ湖ゲルメリゾート」をお楽しみください。



夢京橋  
キャッスルロード



長浜ドーム  
ENVIRO-SHIGA 2013

■観光・散策スケジュール

※写真はすべてイメージです。

彦根・長浜コース  
出発地発7:45~8:30——鮎家の郷(お買物)9:00~9:30——**国宝 彦根城(天守閣)** 10:15~11:00  
——**長浜ドーム(びわ湖環境ビジネスメッセ)** 12:00~14:00——米原駅【解散】15:00頃

※天候・交通機関等の都合により、行程・時間等変更になる場合があります。

——バス



ひこねじょう  
国宝 彦根城

彦根城は、日本の滋賀県彦根市金亀町にあった城です。江戸時代および1869年(明治2年)の版籍奉還後から1871年(明治4年)の廃藩置県まで彦根藩の役所が置かれました。天守、附櫓及び多間櫓は国宝、城跡は国の特別史跡かつ琵琶湖国定公園第1種特別地域となっています。

びわ湖環境ビジネスメッセ2013

びわ湖環境ビジネスメッセ実行委員会は、「環境と経済の両立」を基本理念に持続可能な経済社会を目指し、環境産業の育成振興を図るため、環境負荷を低減する製品・技術・サービス等を対象とした、商談・取引と情報発信・交流の場となる環境産業の総合見本市「びわ湖環境ビジネスメッセ2013」を開催いたします。

比叡山延暦寺と近江八景の三井寺・石山寺

さかもと  
坂本ケーブル(比叡山鉄道比叡山鉄道線)

石積みのある門前町坂本と、世界文化遺産である比叡山延暦寺の表参道として1927(昭和2)年に敷設された坂本ケーブル。登録有形文化財に選定されたケーブル坂本駅とケーブル延暦寺駅間、日本最長の2025mを11分で結ぶ、パノラマワイドな窓をもつヨーロッパ調の車両「緑号」「福号」が人気を博しています。



ひ えいざんえんりやくじ こんぼんちゅうどう  
比叡山延暦寺・根本中堂

延暦寺では三塔即ち東塔・西塔・横川にそれぞれ中心となる仏堂があり、これを「中堂」と呼んでいます。東塔の根本中堂はその最大の仏堂であり、延暦寺の総本堂となります。本尊は薬師如来です。延暦寺を開いた伝教大師最澄が延暦7年(788)に創建した一乗止観院が元であり、その後何度も災害に遭いましたが、復興の度に規模も大きくなりました。現在の姿は徳川家光公の命で寛永19年(1642)に竣工したものです。ご本尊の前には、千二百年間灯り続けている「不滅の法灯」も安置されています。建物は国宝に指定されています。廻廊は国重要文化財に指定されています。



おんじょうじ みいでら  
園城寺(三井寺)

園城寺は、滋賀県大津市にある、天台寺門宗の総本山。山号を「長等山」と称する。開基(創立者)は大友与多王、本尊は弥勒菩薩です。日本三不動の一である黄不動で著名な寺院で、観音堂は西国三十三所観音霊場の第14番札所で、近江八景のひとつでもあります。



いしやまでら  
石山寺

東寺真言宗の寺。本尊は如意輪観音、開基(創立者)は良弁である。当寺は京都の清水寺や奈良県の長谷寺と並ぶ、日本でも有数の観音霊場で、西国三十三所観音霊場第13番札所となっています。また当寺は『蜻蛉日記』『更級日記』『枕草子』などの文学作品にも登場し、『源氏物語』の作者紫式部は石山寺参籠の折に物語の着想を得たとする伝承があります。「近江八景」のひとつ「石山秋月」でも知られています。

■観光・散策スケジュール

※写真はすべてイメージです。

比叡山・石山コース  
出発地発7:45~8:30——坂本——《坂本ケーブル》——**比叡山延暦寺(根本中堂)** 9:30~10:30  
——**三井寺** 11:00~11:30——淡味の膳処 洗心寮(昼食) 12:00~12:50——**石山寺** 13:00~13:40  
——京都駅【解散】15:00頃

※天候・交通機関等の都合により、行程・時間等変更になる場合があります。

——バス ——ケーブルカー